

82回生 Anthem

2日（火）はわくわくオーケストラに行ってきました。わずかな距離ですが、班で阪急芦屋川から電車で向かいました。さまざまな班活動を通して、仲間と協力し、班やクラスの絆を深められました。また、素晴らしい音楽を聴き、驚きや発見、感動のあった1日でした。

12日（金）には生徒総会があり、生徒会の先輩たちの立派さやそれを聴いている先輩たちの態度のすばらしさに中学生としての自覚を促された時間でした。

13日（土）の土曜参観では多くの保護者の方に来校いただきました。ありがとうございました。いつも以上に集中し、前向きに取り組めた1日でした。

17日（水）からは初めての期末考査を経験し、9教科ある勉強の量の多さや難易度に苦戦しながらも、中間考査の反省を生かし、がんばれた生徒も多かったです。

現在は教育実習生や体験学習の生徒もいます。いつも以上に賑やかながら、人との関わりを通して学びを深めている時期です。

81回生学年だより そら

トライやる・ウィークの活動を終えてのまとめから、2人の言葉を紹介します。

○トライやる・ウィークを通して、仕事の大変さや気配りの大切さを学びました。今までも仕事の大変さはわかっていただけ、実際に働いてみたら、毎日これを続けるのは「ちょっと嫌だな」と思っちゃいました。でも、もちろん楽しいこともあったので、将来のことも考えたいなと思いました。でも、まだまだ自分がどんな仕事をしたいとか考えてもわからないと思うので慎重にゆっくり決めたいです。今回、お客様(相手)のことを考えて行動する大切さがわかったので、学校生活でもいかしたいです。

○直接関わりがない人にもすぐそばにいる人にも支えられて今私たちが普通に生活できていることを深く実感できる機会になりました。一人の利用者さんに関わっていても全体を気にしなければならぬというのはこのトライやる・ウィークで一番大きく学べたものです。人の命を預かることは私にはとても重く感じたし、責任という言葉がずっと肩の上に乗っていた感じがしたけど、いい経験となったと思います。

かけがえのない経験をさせていただいた5日間でした。学年としてさらに成長していきたいと思います。

80回生 カルテット

いよいよ運動部の人たちは、来週に芦屋市内の「総合体育大会」が行われます。悔いのない取り組みをしてほしいと思います。全国には約1万校の中学校があります。その中で、負けずに終わる中学校はたった1校です。それ以外の中学校は必ず負けます。この負ける時までがとても大事だと思います。最後の試合が終わるまでの過程で「何を目指し」、「何を大切に」、「何を学ぶか」。

先日、道徳で「世界一のロッカールーム」を学習しました。「2015年ラグビーワールドカップで1度も試合に出られなかった元日本代表キャプテン『廣瀬選手』が、陰ながらチームの歴史的な大勝利を支えた実話です」みんなの感想の一部を紹介します。

- ・「自分中心に考えるのではなく、仲間のため、集団のために尽くすことはいつか自分のためになる、と分かった。」
- ・「チームというのは、誰かの支えから成り立っていて、それを崩さないためにメンバーが、その支えに応えることが必要だと実感した。」
- ・「他人から応援されるチームは、礼儀、挨拶、そして主人公の選手みたいに掃除をしたりと、一人の人間としての行動があつてこそ、本当の強いチーム、世界一と言える。」
- ・「試合に出るときは、出られない人の分も精一杯戦い、自分の出せる力を出し切る。出ていない時には、試合に出ている人をしっかり応援し、コートの外からでも出ている仲間を支えていきたい。」
- ・「感謝の気持ちを絶やさずにいることは、自分を強くすることにつながる、と分かりました。」
- ・「成功する人は些細な感謝や思いやりを大事にしているのだ、と分かりました」

